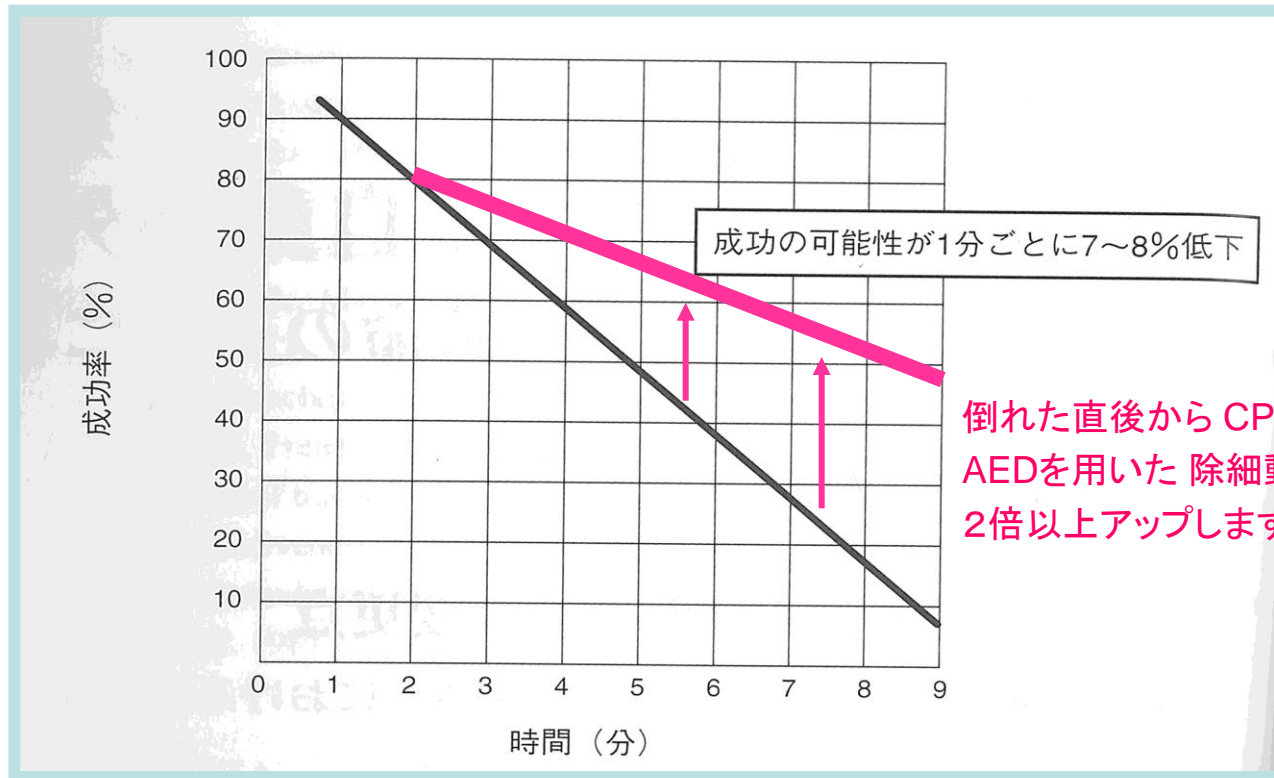


AED ⇒ “救命の連鎖”の第3の輪



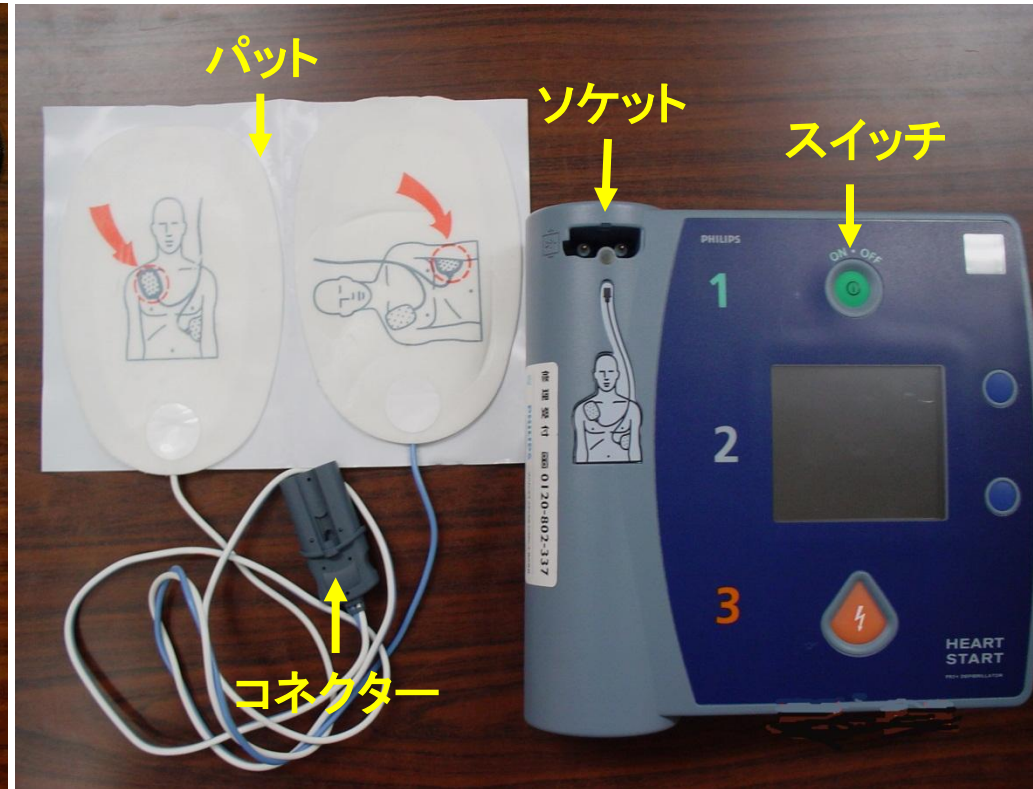
- **AED** とは **A**utomated **E**xternal **D**efibrillator の略語であり「自動体外式除細動器」と邦訳されます。コンピュータを内蔵しており、心リズムを解析して電気ショック(除細動)を実施するように指示したり、胸骨圧迫をするようアナウンスしたりする器械です。
- **なぜ早期除細動か？** : 除細動が遅れると救命率が低下 するから
- 成人の心停止直後の心リズムは、殆どが **VF(心室細動)** です。
↑ ↑ **AF(心房細動)** ではありませんヨ！

D : (電氣的) 除細動



- 一次救命処置 (BLS) の「D」に、除細動が含まれています。
- 除細動は、時間との勝負です！
- 除細動までの時間が1分遅れるごとに 蘇生率が約10%低下！
- AED が到着するまで、救助者が早期から、適切なCPRを行った場合は、除細動の成功率がぐ~んとアップします。

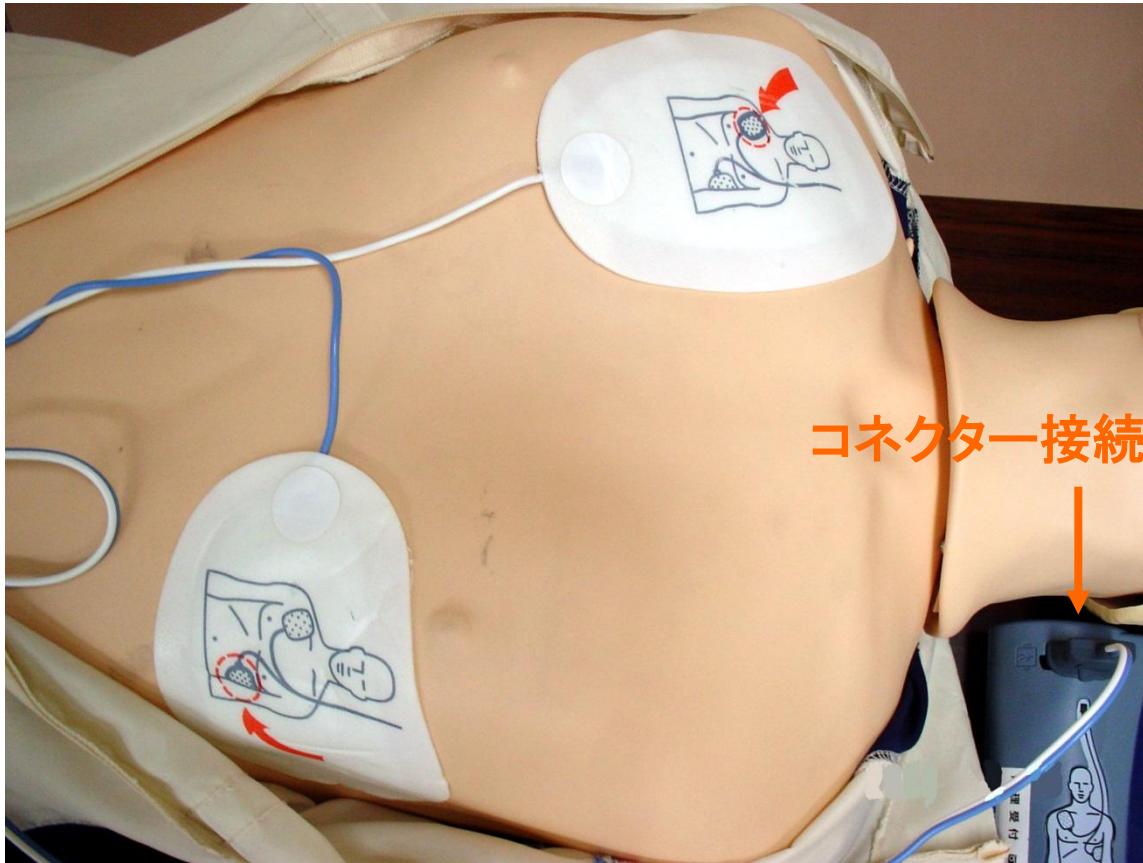
自動体外式除細動器 (AED) ①



AED (自動体外式除細動器)が到着したら、直ちに施行！

- ① 本体を開いたら、まず、**スイッチ**を入れます。
- ② すると、アナウンスが流れてきます。後は、AEDの**アナウンス(ガイダンス)に従って行動**するのが原則。

(AED) ②



- ③ パッドを絵のように、右胸部の上 および左胸部の横(腋窩)に貼ります。
(心臓を“つつむ”ように貼ります)

- ④ コネクターを本体のソケットに差し込むと、自動的に心電図波形の解析が開始されます。「心電図を解析中です」というアナウンスがあれば 胸骨圧迫を中断、傷病者から離れます。
- ⑤ 除細動が必要な場合、AEDは アナウンスとともに、除細動ボタンを点灯させます。

(AED) ③



＜除細動時の注意＞

人を遠ざける→感電予防

引火の恐れのあるもの

(酸素マスク等)を遠ざける

※ 体動が出て脈が触れれば、こいけさん！
(こ→呼吸、い→意識、け→血压)

- ⑥ 周囲に人が接触していないことを確認、引火のおそれのあるもの(酸素など)を遠ざけて、除細動ボタンを押します。
- ⑦ 除細動後、直ちに胸骨圧迫から始まるCPRを再開します。
(30:2を5～6サイクル)。2分後、AEDは再度、自動解析します。
- ⑧ 傷病者の体動が出現すれば、頸動脈拍動を確認します。
- ⑨ 頸動脈の拍動があれば、自発呼吸→意識を確認します。
呼吸がなければ、5～6秒に1回、人工呼吸を行います。

AED 使用上の例外項目：5つ

- 1) 傷病者が **8歳(体重25kg)未満**の子供だったら？
→ 乳児～8歳も、小児用パッドを用いて AEDが使用できます
- 2) 患者さんが 全身、**水で“濡れて”**いたら？
→ タオル等で 胸の水分をふき取ってから パッドを貼ります
- 3) 胸に**ペースメーカー**等が埋め込まれていたら？
→ ペースメーカーの直上は避けて、パッドを貼ります
- 4) 胸にニトロダームTM等の**塗布薬剤**が貼られていたら？
→ 塗布薬剤をはがし、よく拭いてから パッドを貼ります
- 5) 患者さんの**胸毛**が非常に濃かったら？
→ ① パッドを再度、強く皮膚に押し付けます
② パッドを思い切りはがして胸毛を除去し、新しいパッドを貼り(1回～2回繰り返す)、心電図解析をやり直します